

特例校運営資金を寄付

白石倉庫

教育充実の一助に



【宮城】白石倉庫（太宰
第一社長、宮城県白石市）

は2月22日、白石市教育委
員会に教育基金として50万
円を寄付した。寄付

金は、4月に白石市
に開校予定の、不登
校に悩む子供たちが
通う特例校白石きぼ
ろ学園の運営資金に
充てる。

同市教委学校管理
課の佐藤哲生課長ら

寄付申し出書を手
にする太宰社長㊦
と佐藤課長

が白石倉庫を訪ね、太宰社
長から寄付申し出書を受け
取った。太宰氏が「この基
金の趣旨に賛同している。
教育の充実の一助になれ
ば」と述べ、佐藤氏は「大
変感謝している。（きぼろ
学園が）悩める子供たちの
選択肢の一つになれば幸
い」と謝意を示した。

同校は、2017年に義
務教育の段階における普通
教育に相当する教育の機会
の確保等に関する法律（教
育機会確保法）が施行され

て以降、全国で初めて設置
される小中一貫の不登校特
例校。19年に廃校となった
南中学校の校舎を活用し、
児童・生徒合わせて15人が
入学する見込みだ。木の香
りが漂う校舎は08年に建設
されたばかりで、静かな環
境の下で①落ち着いて過ご
せる居場所②認めてもらっ
ること③個別最適な学び―
をコンセプトに一人ひとりの
気持ちを重視しながら、
それぞれのペースで学べる
環境にする。（今松大）